

一関市の公共施設のこれからを考えるシンポジウム アンケート結果(公表)

《シンポジウム》

開催日時 平成29年7月22日(土)

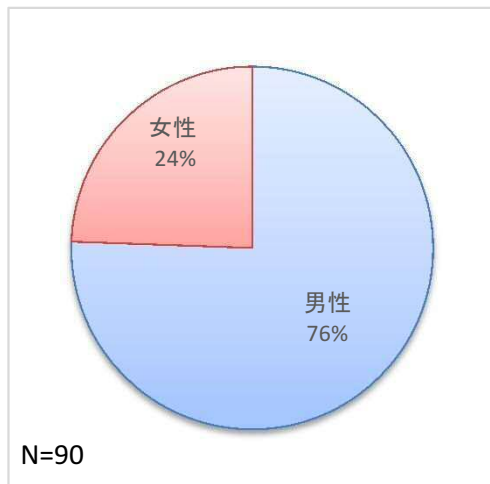
開催場所 川崎市民センター ホール

シンポジウム来場者112名のうち、90名の方からアンケートに回答をいただきました。

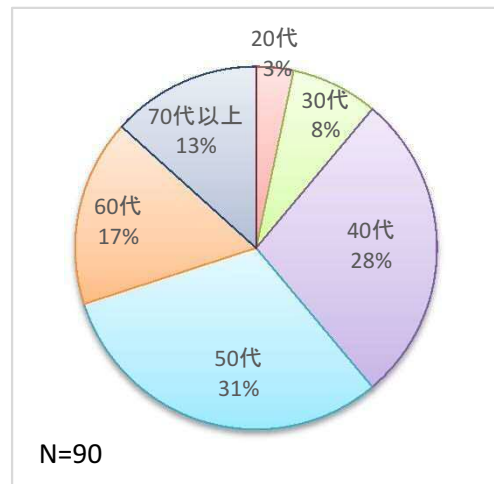
- ・来場者数 112名
- ・回答者数 90名
- ・回答率 80.4%

I 回答者属性

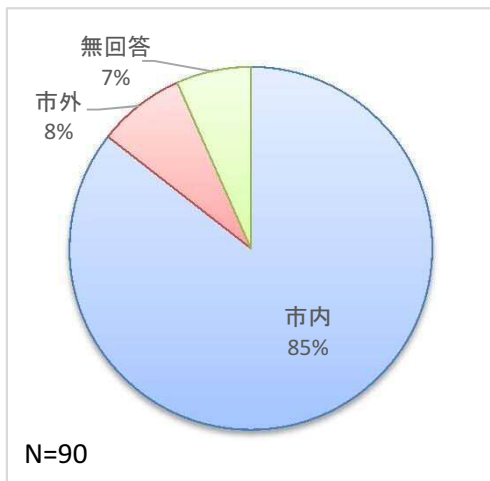
問1 性別



問2 年齢



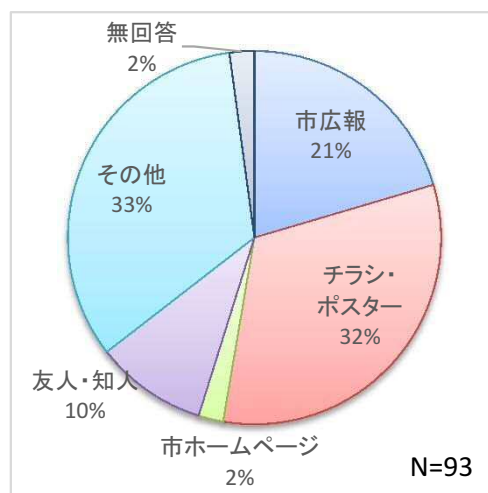
問3 お住まい



II シンポジウムの内容について(該当する1箇所には○をつけてください)

問4 シンポジウムの開催を何で知りましたか。

「チラシ・ポスター」が32%、市広報が21%となっていますが、「その他」として職場や地域、市からの案内通知で知った人も33%と多くなっています。

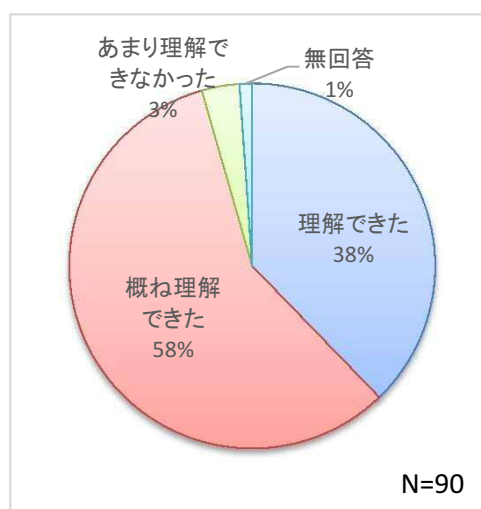


※複数回答者がいたため、N=93となっているもの。

問5 シンポジウムの内容はいかがでしたか。

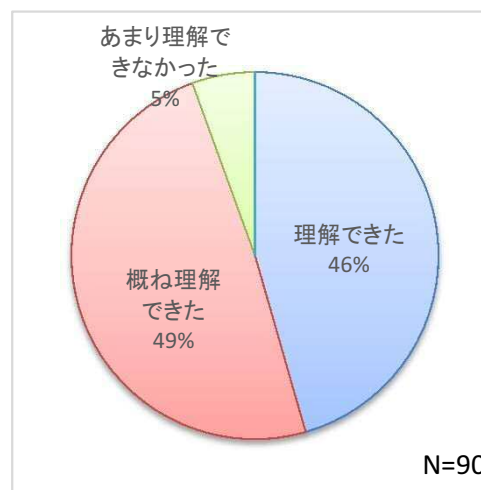
【基調講演】

95%以上の方が内容を「理解できた」又は「概ね理解できた」としています。



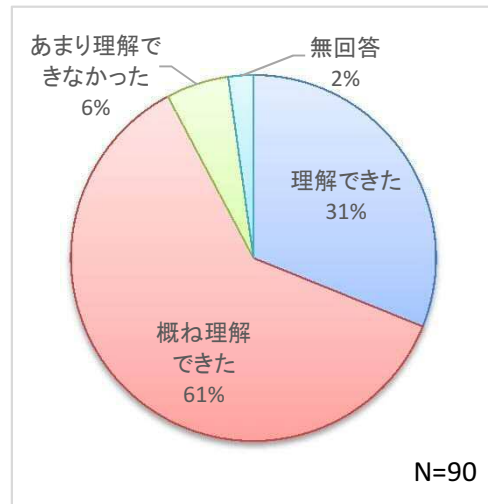
【事例発表】

95%の方が内容を「理解できた」又は「概ね理解できた」としています。



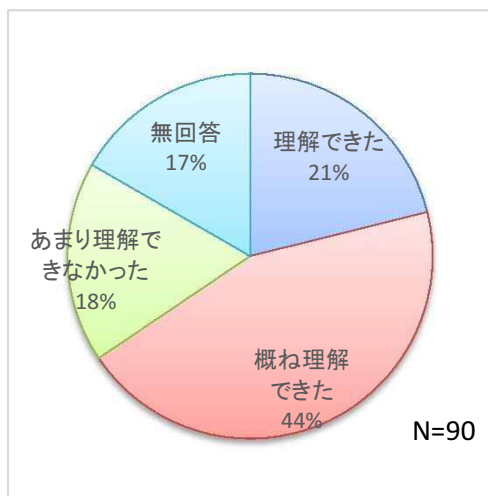
【報告】

90%以上の方が内容を「理解できた」又は「概ね理解できた」としています。



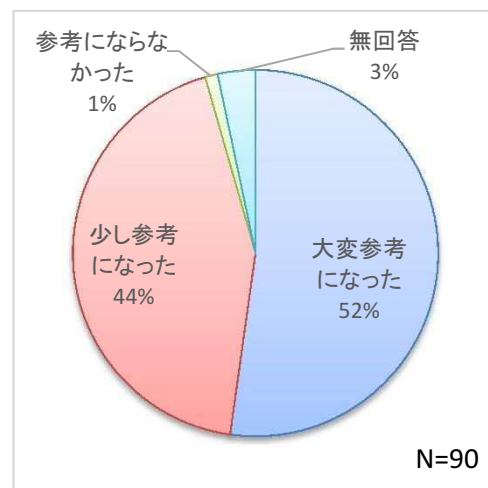
【パネルディスカッション】

65%の方が内容を「理解できた」又は「概ね理解できた」としています。
一方で18%の方が「あまり理解できなかった」としています。



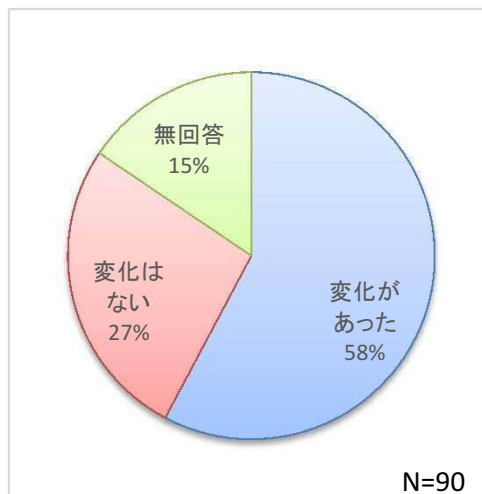
問6 本日のシンポジウムは、参考になりましたか。

95%以上の方が「大変参考になった」又は「少し参考になった」としています。



問7 シンポジウムの前後で公共施設に対する考え方に変化はありましたか。

58%の方が公共施設に対する考え方に「変化があった」としています。一方、「変化はない」と回答した方も27%となっています。



1. 変化があった(内容) ※一部掲載

1	「施設を見直すか、機能を残す」。住民の声を聞くこと。
2	公共施設を考えることとまちづくりは一体。
3	公共施設のこれからを考えるのは、まちづくりのチャンスととらえることができた。
4	公共施設の再配置をはやく考えなければならないと考えた。
5	関市の機能を残すスタンスが良い。
6	情報公開とその共有の大切さ。
7	人口減少が進むなか、施設の統廃合が必要だと思います。
8	次世代へ古い施設を残せないの、今できることをやらなければならない。
9	「複合化」。「統廃合」だとネガティブな響きを感じる。
10	常にどうしたら細く長く使えるかを考えるようになった。現存しているものを長く使うには？
11	選択と集中が大事。
12	財政状況をふまえた改修、再編が必要。
13	住民の話し合いが大事だ。
14	サービス面も含めての考え方。
15	財源難の影響がもろに公共施設の今後に影響を落としていることに危惧を抱いた。
16	減らすというマイナスイメージをプラスに考えて話し合うことが大事。
17	身の丈に合った施設としてゆく点。
18	公共施設の再利用を真剣に考えて実践していきたい。
19	関市の取組例でイメージがわいた。

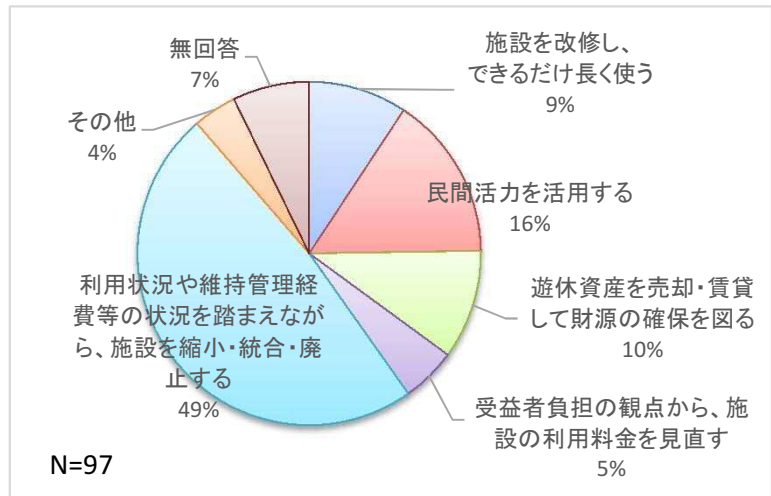
2. 変化はない(理由) ※一部掲載

1	財政面からの取組であるという認識に変化はなかった。
2	人口減少は今に始まったことではない。取組が遅いかもかもしれません。
3	公共施設の整理は必要と感じていたから
4	人口減と財政は理解していた。
5	一関の場合、事前のPRがあった内容であった

Ⅲ 公共施設に関する取組について、おたずねします。

問8 次世代に過度の負担を残さないようにするため、施設の建替や維持管理に関するコストの削減等の取組により財政負担の軽減を図る必要があります。
あなたが最も重要と思われるものに一つ〇をつけてください。

約50%の方が、最も重要な取組として、「利用状況や維持管理経費等の状況を踏まえながら、施設を縮小・統合・廃止する」と回答しています。



※複数回答者がいたため、N=97となっているもの。

(その他)

- ・市民がどのように使いたい(機能)を対話する。
- ・旧市町村の拠点を作り、その後地域のをつつて行く。
- ・地域の皆で話し合いをする。ワークショップ。

問9 シンポジウムのご感想や公共施設に関するご意見がありましたら、お聞かせください。

	内容	※一部掲載属性
1	・周辺に住む住民の利用も考えてほしい。 ・公共施設を考える面で、防災という観点から歩いて安全に集まれる施設を全市民、訪問者含めて確保するということが最低限必要と思います。	男性・60代・市内
2	大変難しい問題とは思いますが、市民を巻き込んだ施策が大事だと思います。	男性・70代以上・市内
3	関市の取組発表にあった通り、合意形成が最も大切だと思います。一関市の取組紹介の中では市民アンケートという計画はなかった様に思いますが、まず市民がどう考えるかの把握が最初ではないでしょうか。	男性・70代以上・市内
4	改めて、公共施設の必要性について考える良い機会でした。	男性・40代・市内
5	「行政」「公共施設」というと、どうしても決定は多数決になってしまうとは思いますが、利用者が少数であってもその人達にとっては必要性が高い(無くなると大変)場所というのも多々あると思います。少数派の意見や見過ごされがちな高齢者・子どもの意見も大事にしながらか検討を進めれば良いです。	女性・20代・市内
6	住民への十分な情報提供と情報共有を図り、納得して縮小、廃止することが大事	女性・50代・市内
7	一関市は地域が広範囲です。地域の公共施設については必要、不必要を皆さんと話し合うことが大切。「過去、現在、未来を考えて」	男性・60代・市内

8	どこの市町村でも問題。 これからは、、、ということを常に考えるようになったが、まだまだ、自分の中では他人事になっているところがある。今ある施設をいかに長く使うか。やはり有効活用を今後考えることが必要かなと感じています。むずかしい問題ですよね。	女性・60代・市内
9	<ul style="list-style-type: none"> ・廃校校舎は取り壊すべき。 ・代替施設は内容をよく考えること。 ・既存施設の管理に費用をケチらないこと。 ・利用者目線の施設整備、管理を。 	男性・40代・市内
10	当面、建替えは行わず、長寿命化を図る。省エネ化を図る。	男性・50代・市内
11	<p>①学校(教育施設)と医療施設は地域コミュニティで大事だと思う(これがないと地域が衰退する)。</p> <p>②少子化で学校施設が減少する状況で、転用の活用→それを介護施設(グループホームなど)低れんで安価な優良老人ホームなどに活用する事例があるので、需要にみあった施設の活用。</p>	男性・40代・市内
12	公共施設(廃校になった学校、廃院した病院)等を撤去するのもお金がかかるのではないですか？古い施設を運用するのもお金がかかるのではないですか？外国のような貧困国にならないような政策を望みます。	女性・50代・市内
13	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の案内をいただいた時は、どんな内容の講演、シンポジウムかピンと来なかった。 ・一関は、統廃合して、新築してというケースが多いので、実際、どの程度土があるか知っていかないといけないと思った。 ・交通(バス)等、全体的に見ていかないとイケなさそう。 	女性・40代・市内
14	<p>一関を3ないし4つエリアに分ける</p> <p>→エリアに必要な機能をシミュレーションを元にわりふる</p> <p>→仕分けを行う</p> <p>→具体的に住民に説明する</p>	男性・40代・市内
15	学校統合、保育施設の廃止等があるなかで、もっと具体的な貸付等の話題がほしかった。	男性・70代以上・市内
16	シンポジウムで一関市と三浦さんの発言が実例に基づいておりとても参考になりました。公共施設問題は、都市部より地方部のほうが敏感に反応するものと思います。	男性・40代・市外
17	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が著しい市民センターもあれば真新しい市民センターもある。部屋数や機能等、ある程度の公平性が必要では？ ・市民センターを地域の集会所として利用している一方、自前で集会所を建設して地代や維持費を拠出して活動している地域や集落もある。この不公平はどう考えたらいいか！ 	男性・60代・市内
18	今後のワークショップ等において、どれだけ幅広い世代や立場の市民の意見を集められるかが、最も重要だと感じた。	男性・30代